

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
 TEL 03(3404)7661
 E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com
 友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

展望と確信をもって前進を

代々木健康友の会 第46回定期総会

秋も深まった10月28日(日)、代々木健康友の会第46回定期総会が全理連ビルで行われ、150名の会員の皆様に参加されました。



活動の成果を報告する石橋前会長



緊迫する国会情勢などについて講演する笠井あきら衆議院議員



150名が参加しました

井田副会長の開会宣言に続いて、石橋会長が挨拶に立ち、「昨年、井上院長の『本気で友の会を大きくしましょう』との呼びかけに、職員と友の会は心動かされ、年間目標500人拡大の達成など、多くのことが成し遂げられた一年でした」と活動の成果を報告しました。

来賓18名の方を代表して、代々木病院・井上均院長から挨拶をいただきました。その中で井上院長は、代々木病院は大手病院との連携の強化や、訪問診療とリハビリ、

通所リハビリを通じて、地域の患者さんのための病院としての役割が充実してきたこと、地域の病院、介護事業との連携で住民とのつながりができたとことについて話され、友の会活動の今後の広がりについて話されました。

また、東葛病院の建てかえ問題にも触れ、「私たちの大きな夢が実現しつつあります。入院治療、専門医療や外科治療など利用しやすくなります」とアピール。「代々木病院をもちあげ、東葛病院の建設を成功させるため、共同組織の皆さんと力を合わせ、精一杯頑張ります」と話されました。



井上均院長



布施仁新会長

この後、日本共産党の笠井あきら衆議院議員が、緊迫する国会情勢などについて講演。「国政でも都政でも古い政治はもう御免だと思って、黙っていたら変わらぬが、黙っていたら変わらぬ。その思いが『一点共闘』として空前の規模で広がっています。原発ゼロ、消費税増税、オーストレイ配備反対など、政治を動かす力を発揮しています。明るい展望を一緒に開こうではありませんか」と呼びかけました。(講演要旨は友の会事務所の窓口にあります)

事務局長報告では、①三年連続の熱中症対策のとりくみで、孤立死、孤独死を出さない地域見守り活動を進めてきたこと②「地域まるごと健康づくり」で行なった鳩森神社での健康チェック、祭りへの参加で、町内会や商店街、老人会とのつながりができ、地域に期待される友の会へと前進していること③高齢者の居場所づくりの『食事会』が、地域の団らんの場となっていることを、スクリーンに画像を映しながら報告しました。



代々木病院合唱団バンプーの歌声で、会場が和みました

また、石原都知事の突然の辞任で都知事選挙が行われることにも触れ、都政を都民本位に変えていく契機にしたいと訴えました。

続いて会計報告、会計監査報告、予算案提案がおこなわれ、質疑・討論をおこないました。新役員の提案、特別決議案の提案があり、多くの賛同を得てすべての議題は採択されました。

最後に代々木病院合唱団バンプーの歌声に会場が和み、閉会しました。総会へのご参加、ありがとうございました。

事務局長 清見温子

千駄の萱

年末のあわただしさの中で震災と原発事故後、初めての国政選挙が行われる。決して他人

事ではない、してはならない。今も復興は進まず、福島では16万人余りが県内外でつらい避難生活をしている(9月現在)。

福島第一原発から180キロ離れた栃木の知的障がい者施設・足利こころみ学園では、露地栽培の椎茸が放射能物質の基準値を超えて出荷停止、園の死活問題になっていると報道された▼原発をなくすと公約し、すでにその行動をしている人や政党に投票したい。なくすと言いつつ再稼働を平気で言う人は国会から出ていってらおう▼民主と自民は選挙の争点を国会議員定数削減に持っているとして。マスコミもその報道や党内争ばかりだ。これを争点せらしめ、これを争点せらうと言わずに何と言おうか▼消費税、TPP、オーストレイも○か×かの選択肢と忘れてはならないだろう。紙幅の制限で残念▼併せて東京では自分のわがままで勝手に辞めた結果、知事選挙も同日投票で行われる。電気の一大消費地で東電の筆頭株主でもある東京都。脱原発を着実に前に進める候補者を選び、必ず投票しよう。

(み)